

令和3年度上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会

第1回急変時対応部会を開催しました



○7月29日(木)19:00から、第1回急変時対応部会を開催しました。参加者は、部会メンバー7名と在宅医療推進センターコーディネーター2名、上越市高齢者支援課1名、妙高市福祉介護課1名、事務局3名でした。

○今回は、昨年度に介護保険事業所等、医療機関、消防署(救急隊)を対象に実施した「高齢者の急変時における対応の実態調査」の回答結果を基に、上越地域が抱える急変時の対応に関する課題を整理し、部会として取り組むことを検討しました。

○実態調査で回答が多くあった「救急医療情報キット」に関して、上越市、妙高市それぞれの担当者も出席し、現状や課題について意見交換を行いました。

【急変時の対応に関する課題及び部会として取り組む内容について】

①アンケート調査の回答を以下のように整理しました。

項目	見えてきたこと
判断基準 伝達の方法 連絡先 多職種連携	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関への伝達内容が決まっていると良い。 ・日頃から多職種でのコミュニケーションが図れていると良い。 ・急変の考え方が統一されていると良い。

項目	見えてきたこと
ACP	<ul style="list-style-type: none"> ・一般市民にもっと認知してもらい必要がある。 ・急変時の対応は、本人家族、医師、ケアマネなどを交えて定期的に話し合うことが必要である。
救急医療情報キット	<ul style="list-style-type: none"> ・管理、更新のルール化をする必要がある。 ・市民や関係機関へ周知する必要がある。

②①の整理結果を踏まえて、取組内容と役割分担について以下のように検討しました。

○伝達内容・書式のルール化

→急変時対応部会

○専門職の資質向上

→対人援助スキルアップ部会、多職種連携研修、地域包括支援センター研修、ケアマネ研修、職能団体における研修、他

○ACPの普及

→市民啓発部会、人生会議協議会、地域への出前講座、他

○救急医療情報キット

→行政

急変時対応部会では、急変時の伝達内容、書式のルール化に取り組むこととしました。他の事項については、他の部会やそれぞれの関係機関等に発信していくことになりました。

【救急医療情報キットについて】

現在上越市と妙高市では別の書式を使用していますが、同じ書式が良いとの意見を受け、両市共通の書式になるよう、使用方法も含めて見直しを図っていくことになりました。